

別府駅周辺地区

(大分県別府市)

計 画 期 間 平成 17 年度 ~ 21 年度
 面 積 91ha
 交付対象事業費 662.7 百万円
 市人口 121,118 人 (地区内人口 5,900 人)

ポイント

民間活力を効果的に活用した周遊性のある賑わい空間の創出と高質な都市空間づくり

地区概要

駅前広場等の整備により玄関口としてふさわしい景観整備を図る。公園整備や提案事業により、観光客と住民とのふれあいの場の創出や歩いて楽しめるまちづくりを行い、都市の活性化を図る。

目 標

中心市街地の魅力と活力を向上させることにより、都市全体の活性化を図る。

指 標

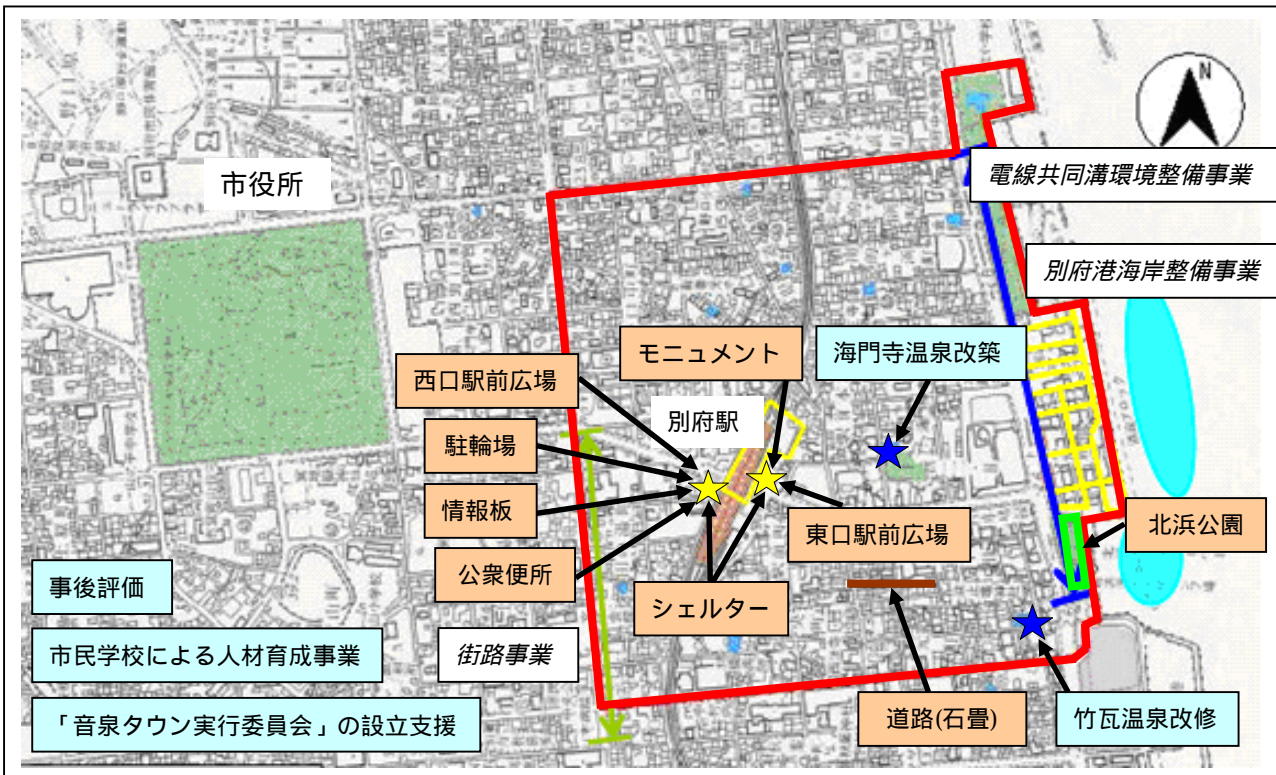
別府駅周辺地区を整備することで、中心市街地の活性化を図り、観光客の増加、減少傾向にある竹瓦温泉利用者数の現状維持、駅前広場内の迷惑駐輪台数の減少を目標とした。

別府駅周辺地区の観光客数	3,348,000 人 (H15)	4,017,000 人 (H21)
駅前広場内の迷惑駐輪台数	100 台 (H16)	0 台 (H21)
竹瓦温泉の年間利用者数	88,973 人 (H16)	89,000 人 (H21)

事業内容

基幹事業 (441.8 百万円) 北浜公園 (0.7ha) 駅前広場 (2カ所、6,040 m²) 情報板 (5ヶ所) 駐輪場 (3ヶ所、500台) モニュメント (1ヶ所) シェルター (2カ所、120m) 道路 (石畳、幅員 3m 延長 170m) 公衆便所 (1ヶ所) 歩行者用通路 (カラー舗装、幅員 60m 延長 4.5m)

提案事業 (220.9 百万円) 海門寺温泉改築 (243 m²) 竹瓦温泉改修 (660 m²) 市民学校による人材育成、「音泉タウン実行委員会」の設立支援



地区の現況と課題

別府駅周辺地区は、豊富な温泉資源に恵まれた別府市の観光拠点として発展してきたが、近年、入込み客は減少傾向にあり、観光産業の停滞が見られ、都市全体の活力の低下を招いている。

また、街全体の中心となる広場やビジターセンターが欠けているため、観光客が最初に寄りつく場所がない。

基幹事業の特徴

別府駅駅前広場

駅前広場の改修、駐輪場、バリアフリー対応の公衆便所の整備、観光モニュメントの設置等を行い、玄関口としてふさわしい景観整備を行う。

北浜公園

北浜公園は、長年中心市街地及び北浜旅館街に隣接する憩いの場として市民や観光客に親しまれてきたが、最近施設そのものが老朽化し利用者も少なくなっているため、北浜周辺の拠点施設として整備を行うことにより、中心市街地の魅力の向上を図る。

道路整備

旧梅園線は、まちづくり路地散策ルートであり、老朽化した舗装を美装化（石畳）することにより、イメージアップを図る。

提案事業の特徴

海門寺温泉・竹瓦温泉

海門寺温泉は、別府駅周辺地区の都市公園内に位置し、中心市街地内の活性化における観光ルートの確立において、重要な役割を担っているが、既存の温泉施設が老朽化しており、その魅力が低下しているため、魅力と特色のある温泉施設として改築を行う。

竹瓦温泉は、別府市を代表する温泉施設であるが、屋根の老朽化が著しいため、快適な温泉施設として提供するため改修を行う。

市民学校による人材育成

観光従事者や市民を対象とした別府の歴史文化の教育、街歩きツアーガイドの育成等を行い、観光客の満足度向上や後世への伝承に寄与する。

「音泉タウン実行委員会」の設立支援

音楽のまち構想として、市民参加型の音楽行事を日常的に開催し常に音楽とエンターテインメントがあるまちづくりを目指すための支援を行う。

計画策定プロセス

ワークショップの開催

別府駅西口広場の整備にあたっては、市民や障がい者を対象とし、計2回のワークショップを行い、得られた意見を広場や公衆便所の計画に反映させた。



別府駅西口駅前広場



北浜公園



海門寺温泉



観光モニュメント



音泉タウン